



THE COCOA SNAPSHOT

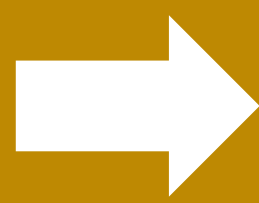
21/22年度 中間レポート*

ココアホライズンプログラムのニュースや最新情報を世界各地からお届けします。

ココアホライズン財団は、カカオ生産者の生活を向上させると同時に、子どもたちと自然を守ることを目的としています。現在、コートジボワール、ガーナ、カメルーン、ブラジル、インドネシア、エクアドル、そしてナイジェリアで展開しています。昨年より、当プログラムの主要な実施機関であるバリーカレボー社に加え、コートジボワールの第三者機関とも提携しています。

*2021年9月から2022年2月までの活動、中間決算のみ。期末決算はPwCの第三者検証を受ける予定です。

私たちは持続可能な開発目標（SDGs）を支持します
<https://www.un.org/sustainabledevelopment>



影響力を拡大し、生産性やコミュニティ、環境保護活動を活性化します

ココアホライズンプログラムの内容:



- 生産者グループとグループメンバーの参加要件
- 生産者から、バリーカレボーまたはプログラムを実施する第三者機関が購入するまでのカカオのトレーサビリティ
- 生産者のアカデミー卒業と生産者グループの能力開発
- カカオの生産性向上と収入を所得創出活動
- 子どもの保護に重点を置いたコミュニティ活動
- 環境保護活動
- プレミアムの使途に関する透明性



生産者グループおよびメンバーとなるための要件: 全ての生産者グループが署名し遵守しています



生産者グループ



サプライヤー行動規範



ココアホライズン協定*

*児童労働憲章および森林保護の誓約を含む

- 全世界で218の生産者グループがココアホライズン認証カカオを供給しました。前年から10%増加しています。
- プログラムに登録している生産者は247,062人で、前年より12%増加しました。

➡  ガーナ:120,756人	➡  インドネシア:2,251人
➡  コートジボワール:100,961人	➡  ブラジル:1,015人
➡  カメルーン:19,356人	➡  エクアドル:1,036人
➡  ナイジェリア:1,687人	



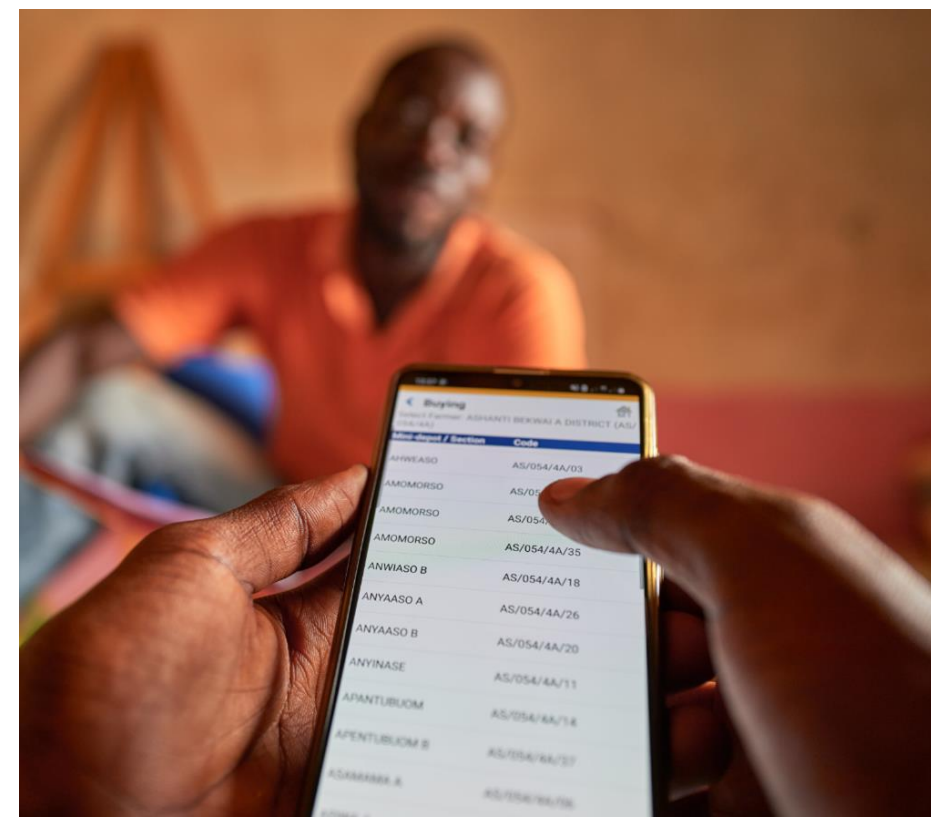
カカオ豆の トレーサビリティ



- 年度初めから通算して、**123,981トン**のココアホライズン認証カカオを購入しました。前年より21%増加しています。

➡  コートジボワール:58,177トン	➡  インドネシア:902トン
➡  ガーナ:36,069トン	➡  エクアドル:3,479トン
➡  カメルーン:24,930トン	➡  ナイジェリア:424トン

- ココアホライズン認証カカオの大半はマスバランスの原則に従います。つまり、生産者から最初に購入したプログラム実施機関の倉庫までの追跡が可能です。
- ココアホライズンの製品には、完全にセグリゲーションされたカカオマスであるココアホライズンインサイドも含まれています。



ココアホライズン アカデミー

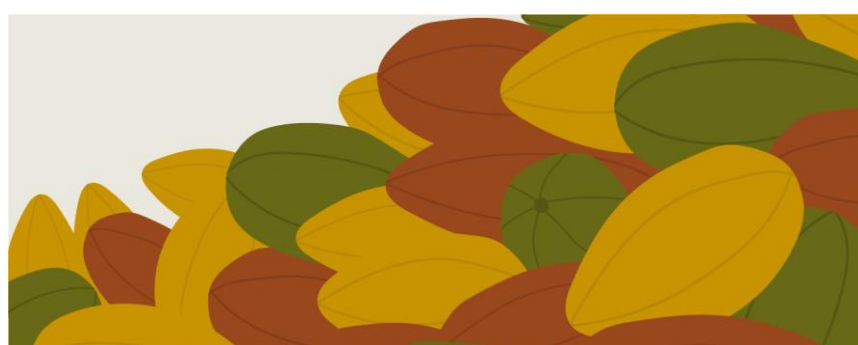
ココアホライズンは、生産者のアカデミー卒業システムの拡大に継続的に取り組んでいます。これにより、生産者の知識、トレーニングの成果や格差を評価することができます。こうすることで、ファーマー・フィールド・スクールから、より個別コーチングにリソースを集中させることができるのです。

卒業テストの範囲には、適切な生産方法のほかに社会、環境についての項目も含まれます。

2022年2月末までに**106,793人**の生産者が卒業しました。（前年比37%増）



生産者の繁栄



カカオ農園の生産性向上は、重点分野のひとつです。生産者とそのコミュニティの生活を向上させるために、「農園ビジネスプラン」がその要となります。

- **64,994人**の生産者が農園ビジネスプランの提供を受けられるようになりました。これは納入している全生産者の**51%**に相当します。

➡  コートジボワール:31,657人	➡  ブラジル:228人
➡  ガーナ:32,669人	➡  インドネシア:440人

- 2月末までに**11,544人**の生産者が生産性向上パッケージ*を受け取りました。

貧困問題に対処するため、革新的な農園サービスや個別コーチングに加え、カカオ以外の収入多様化活動でも生産者を支援しています。例えば、養鶏、ウサギ養殖や野菜栽培、石けんの製造などです。最初の6カ月間で、**1,282人**の生産者やコミュニティのメンバーが収入多様化活動のサポートを受けました。

*土壌の肥沃度を高める植林材などの商品提供と、優良農業規範での農場訓練のセット

革新的なプレハーベスト（収穫前）アプローチ

ここ数年集めたデータから、生産者がポストハーベスト（収穫後）に費やす時間は70%、プレハーベスト（収穫前）に費やす時間は30%に過ぎず、ほとんど投資をしていないことがわかっています。生産性を向上させるためには、プレハーベストへの投資が欠かせません。そこで今年から、本プログラムの資金を通じて、生産者のプレハーベスト労働を支援していくことになりました。コートジボワールとガーナで、今年からこのアプローチの恩恵を受け始めた生産者が**7,500人**います。



コミュニティ



児童労働を撲滅するーリスクベースアプローチ

ココアホライズンはリスクベースアプローチを採用しています。この手法は、社会経済的な国勢調査データとアルゴリズム（CLMRS*の活動から得た情報を活用）に基づいてカカオ生産者コミュニティを低リスク、中リスク、高リスクに分類し、プログラム実施の優先順位を決定するというものです。その上で、子どもやコミュニティのニーズ、特定されたリスクに応じて、介入策を計画し、優先順位をつけます。こうしたアプローチによって、児童労働撲滅に向けて最も効率的な方法でリソースを割り当てることができます。

- 児童労働撲滅システムの対象となっている生産者グループは**164**で、全体の**75%**を占めています（前年比**131%**増）
- 調査対象世帯数 **36,754**世帯（前年比**556%**増）
- **66,924**人の子どもたちを調査し、**12,563**件の事例を確認しました。つまり、調査を受けた子どもの**81%**は児童労働に関係していないことになります。
- 前年度に特定された**16,485**件は是正措置中です

*Child Labor Monitoring and Remediation System（児童労働監視改善システム）の略



児童労働を撲滅するーコミュニティの取り組み

個別の問題の改善も重要ですが、長期的に児童労働の根本原因に取り組むためには、**予防のための活動**が必要です。

- カメルーンでは、**ラジオ番組を通じて生産者とコミュニティの意識を高める活動を開始しました。**
- 新型コロナウイルスの制約により、当初6ヶ月はまだココアホライズンのトラックがコミュニティに到達することができませんでした。

女性の自立促進と子どもたちの保護

このプログラムは、児童労働の防止や世帯収入の向上にプラスの効果をもたらす女性の自立促進に継続的に投資しています。今年は、**51,101人の女性**がココアホライズンの生産者に登録され、前年比**42%**増となりました。

女性の自立促進で重要な要素として挙げられるのが、**村落貯蓄貸付組合（VSLA）**の設立と強化です。この活動は、**子どもを中心としたアプローチ**の推進、**女性の自信の構築**、**生産者への資金調達ソリューション**の提供など、様々な形で役立っています。

今年度に入ってから、主にコートジボワール、ガーナ、カメルーンで**493**のVSLAが設立され（前年度比**144%**増）、今後も引き続き強化・拡大することを目指しています。



環境



農園のマッピングによってカカオ保護区で収穫されたものではないことを確認するのに加え、カカオ生産者コミュニティでは様々な活動に取り組んでいます。**環境保護の啓発**、**アグリフォレストリー**、**料理用コンロ**や**日よけ用の木の配布**などです。

- 現在、**420万本**の日よけ用の木を生産中で、今後数カ月以内に配布される予定です。
- 今後6ヶ月で**2,800台**の料理用コンロを配布予定です。



今後の展望



今後も、プレハーベスト作業の支援やアグロフォレストリーの実施にリソースを集中させ、生産者の全体的な生産性と収入の向上につなげたいと考えています。当財団は、今後も以下の点に重点を置いていきます。

- **100%完全なデータ**を確保し、より効果的な方法で活動を推進します。
- 児童労働と強制労働に関する**デューディリジェンス**の強化を各生産地で徹底します。
- 革新的な**プレハーベストアプローチ**による生産者への支援を通じて、収穫量と収入の増加を促進します。
- これまで以上に**アグロフォレストリー**や**気候変動対応型農業**に重点を置き、**カーボンニュートラル**の達成に向けた活動を促進します。
- **第三者実施機関へプログラムを拡大**し、既に実施している生産地においては強化していきます。

コートジボワール



ALPHONSE（アルフォンス）

「私にとって、ココアホライズンから得たコミュニティの最も大切な恩恵は、すべての子どもたちが学校に行き、そのまま学校で勉強できることです。児童労働に対する生産者の意識向上は、本当に大きな成果をもたらしました。私は幼い頃に父を亡くし、母はよくしてくれましたが、大学進学を目前にして、金銭的余裕がなかったため、私は学校を中退しました。自分の子どもたちには、学業的に可能な限りのことをさせ、彼らが望むものになれるようにしたいのです。私が手に入れられなかったものを、子どもたちに与えてあげたいです」

カメルーン



ATEBA（アテバ）

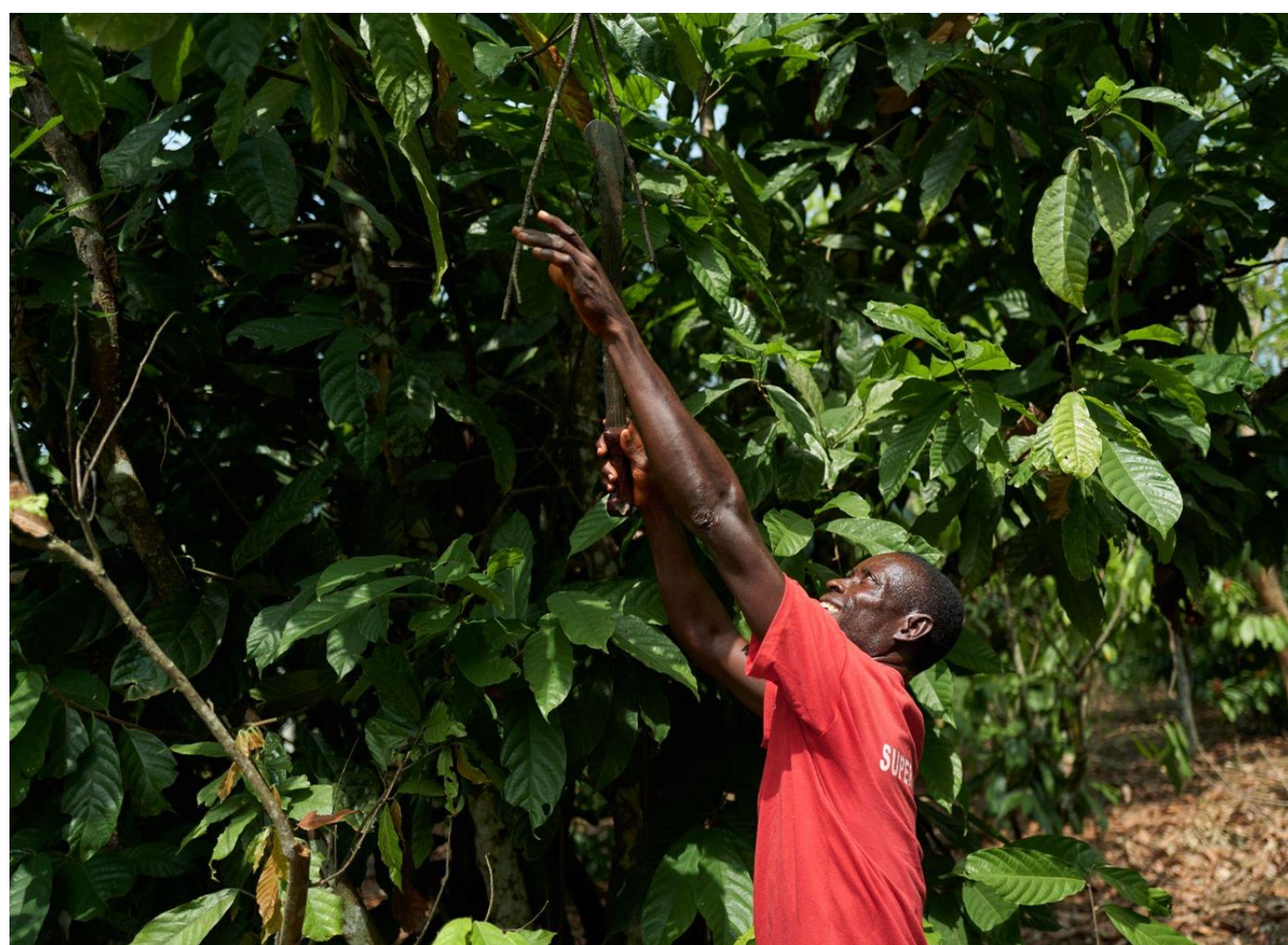
「農園を大切に維持する方法をしてくれるラジオ番組「ココアホライズン スイートココア」にはとても感謝しています。ずっと参加したいと思っていたので、クイズに勝ち、賞品がもらえて、とても嬉しいです。農園に行くときは、この長靴が役立つと思います」



ガーナ

EBENEZER（エベネゼル）

「ココアホライズンのコーチは、剪定の基本と、剪定をすると太陽光が入ってくるため、実は病気の予防になることを教えてくれました。私が農業について学んだ中で、最も重要な知識が剪定でした。カカオの木をきちんと剪定すると、驚くほどたくさんの実をつけるんです。以前は数袋しか収穫できませんでしたが、今では30袋近く収穫できるようになりました」



JENNIFER（ジェニファー）

ココアホライズンコーチ兼生産者

「高校を卒業した18歳のとき、自分の土地に何か生産的なものを作ろうとカカオを植えた父を助けるために、農学者になることを決意しました。現在、3ヘクタールのカカオ畑があり、カカオ農園は11年目になります。私は10年間、その農園の責任者をしていました。灌漑システムを導入し、植物衛生上の剪定を行い、オリジナルの施肥計画を立てました。農園は変革期にありますが、収穫量は増加しており、それが家計にも反映されています」

エクアドル

